

令和元(2019)年度入学者のための

筑波大学大学院博士課程人文社会科学研究科 外国人留学生特別選抜学生募集要項

〔 指定校推薦により大学院学生を募集する外国人留学生特別選抜 〕

博士前期課程第1年次(10月)入学
国際日本研究専攻

令和元年5月10日
筑波大学

1. 出願資格

「国際学術協定を利用した推薦制度による筑波大学大学院博士課程人文科学研究科外国人留学生特別選抜」に基づき派遣される大学院学生を対象とし、学士の学位を有する者、又は令和元（2019）年9月までに有する見込みの者とします。

（出願にあたっての留意事項）

本特別選抜に合格した場合の入学の時期は、令和元年10月1日となります。

2. 募集する専攻・募集人員等

専攻	区分	募集人員	入学時期	備考
国際日本研究	博士前期課程第1年次入学	若干名	令和元年10月1日	

国際学術協定先

ベトナム教育訓練省ホーチミン市師範大学日本語学部

3. 出願書類等

下記摘要欄及び願書等記入例を参照し記入のうえ、提出してください。

	書類等	提出該当者	摘要
1	入学願書	全員	所要事項を記入し、提出してください。必ずメールアドレスを記入してください。
2	外国人出願者用履歴書	全員	所要事項を記入し、提出してください。
3	受験票・写真票 机上受験票	全員	所要事項を記入し、写真（出願前3か月以内に撮影した無帽上半身正面のもので、大きさは縦4cm×横3cm、同一の写真を使用）をはって提出してください。
4	卒業（見込） 証明書	全員	本学大学院への出願資格を満たす大学の卒業（見込）証明書を提出してください（通常は学士の学位を取得した大学（学部・学群））。 注）修士又は博士の学位を取得している場合であっても、学士の学位を取得した大学の証明書が必要です。
5	成績証明書	全員	① 本学大学院への出願資格を満たす大学の成績証明書を提出してください。（通常は学士の学位を取得した大学（学部・学群））。 注）修士又は博士の学位を取得している場合であっても、学士の学位を取得した大学の証明書が必要です。 なお、編入学等により認定されている科目がある場合には、編入学等前の成績証明書も併せて提出してください。 ② 大学院修了者（修了見込みの者を含む）は、大学院における成績証明書も提出してください。
6	研究計画書	全員	【国際日本研究専攻】（様式任意） 入学後に研究しようとしている内容及びその計画について、氏名、研究題目及び希望指導教員名を明記して提出してください。 様式任意、A4判、縦置き、横書き、4,000字以内。 英語または日本語（A4判2枚以内）。

	書類等	提出該当者	摘要
7-1	論文等	全員	各自用意する封筒に「7-4 論文等用シート」をはり付けて、この封筒に「7-2 論文等 題目票」を添付した 次のいずれか(論文等)を入れた後、出願書類提出用の封筒に 他の出願書類と同封して提出してください。 ① 卒業論文(写し可)又は修士論文(写し可) 上記論文が出願時に提出不可能な場合は、それに準ずる論文 ② 昨年度以前の卒業者は、新しい論文(写し可)をもって①に代えることができま す。 ③ 卒業論文又は修士論文を課せられていない者は、それに準ずる論文
7-2	論文題目票	全員	所要事項を記入し、提出する論文等すべての表紙に添付してください。(複写可)
7-3	論文等要旨 (様式任意)	該当者	日本語又は英語以外の言語で書かれた論文を提出する場合は、日本語(2,000 字 程度)又は英語(1,000 語程度)の要旨を、論文等を入れる封筒に同封し提出してくだ さい。
7-4	論文等用シ ート	全員	所要事項を記入し、論文等を入れる封筒に貼付してください。
8	推薦書 (様式任意)	全員	所属大学(出身大学)の日本語文系主任による推薦書(日本語または英語)を提出 してください
9	宛名シート①	全員	所要事項を記入し、提出してください。 合格者に合格通知書等を送付する際に使用します。
10	宛名シート②	全員	所要事項を記入の上、出願書類は全てを入れた封筒(各自用意)にはって、郵送 (書留速達)してください。

※出願書類により取得した個人情報及び試験成績の個人情報については、入学者選抜に関する業務に利用します。

4. 検定料

30,000 円(国費外国人留学生を除く。)

所定の金融機関等からの払い込みとなります。

① 払込期間

令和元(2019)年 5月31日(金)から、出願期間に間に合うよう払い込みください。

② 払込方法

以下の本学ホームページを参照し、クレジットカード(VISA、Master Card、JCB、AMERICAN EXPRESS)により払い込
んで下さい。

<http://www.tsukuba.ac.jp/admission/graduate/shiharai.html>

※上記ホームページでの支払い手続完了後、Receipt Number が記されたResultページが表示されますので、紙に出
力のうえ「3.出願書類等」の「1 入学願書」にホチキス留めして提出して下さい。提出がない場合は、出願書類を受理
しません。

5. 出願方法

- (1) 入学志願者は、出願書類を取りそろえ、以下の出願先に、出願期限までに送付してください。
あわせて、Eメールでも出願書類を送信してください。その際、ファイル名は「指定校推薦(国際日本研究専攻)(出
願者氏名)」としてください。

〒305-8571 茨城県つくば市天王台1-1-1
筑波大学大学院 人文社会科学部国際日本研究専攻
E-mail: office@japan.tsukuba.ac.jp

- (2) 出願期限: 令和元(2019)年 6月12日(水)まで必着とします。

- (3) 出願書類を受理したときは、Eメールで試験場等の詳細を通知します。

6. 選抜方法

出願書類及び学力検査の結果を総合的に判定し、入学候補者を決定します。

7. 学力検査日程・試験科目等

次のとおり実施します。試験科目は、〔出願時選択〕に注意してください。

国際日本研究専攻(博士後期課程)

専攻	月日	2019年6月24日(月)～6月28日(金)
	科目	口述試験(200点)
	時間	8:30～17:00(9:30～18:00 日本時間)
国際日本研究	研究内容及び研究計画に関して個別に面接を実施する。(注) テレビ会議システムを使用する。	

(注)

出願の際に、「国際日本複合研究」、「国際日本社会科学」、「国際日本人文科学」、「日本語教育学」のいずれかが希望する学位プログラムを一つ選択してください。

○ 学力検査等の試験場

ベトナム教育訓練省ホーチミン市師範大学日本語学部 (280 An Duong Vuong Phuong 4, Quan 5, Ho Chi Minh City, Vietnam)

(注) 詳細については、出願書類等を受理後、Eメールで通知します。

8. 合格者の発表

令和元(2019)年7月16日(水)。合格者には、合格通知書(授業料等免除申請の取扱いを含む)を送付します。

9. 入学手続

(1) 合格者には、入学手続き案内(入学に際して必要な提出書類が同封されています)を送付しますので、これにしたがって手続きをとってください。なお、その際、有職者(非常勤、アルバイトを除く)については、任命権者が発行する書類(研修命令書、休職証明書、就学承諾書等のいずれか)をあわせて提出してください。

(2) 入学に必要な経費

① 入学料 282,000 円

② 授業料 第2期分(10月～3月分)267,900円(さらに次年度に令和2年度納付金(4月～3月分)535,800円の納付が必要となります)

注1) 入学時または在学中に学生納付金の改定がおこなわれた場合は、改定時から新たな納付金額が適用されます。

注2) 国費外国人留学生は入学料と授業料の納付を免除されます。

入学手続き時までに「出入国管理及び難民認定法」(昭和26年政令第319号)に基づき、大学院入学に支障のない在留資格を得てください。なお、本学に外国人留学生として入学を希望する者は必ず「留学」の在留資格を得てください。

10. 受験についての注意事項等

1) 提出書類の不足、記載事項に不備がある場合には、出願書類を受理しないことがありますので、提出前によく確認してください

2) 出願後の志望研究科又は専攻の変更は認めません。

3) 出願書類は、返還しません。

11. 募集要項に関する問い合わせ先

学生募集に関し、不明な点等がある場合には、下記に照会してください。

〒305-8571 茨城県つくば市天王台1-1-1
筑波大学大学院 人文社会科学部 国際日本研究専攻
E-mail: office@japan.tsukuba.ac.jp
取扱日及び時間: 月～金曜日の9時15分～12時15分・13時15分～17時15分
〔ただし、休日(国民の祝日、振替休日)を除く。〕

大学院博士課程研究科の概要

研究科案内

人文社会科学研究科

本研究科は、人文社会科学の基礎・基盤研究を深化させるべき優れた能力を有し、かつ人文社会分野の学問的進展や社会的要請の変化に応え得る独創性と柔軟性を併せ持つ研究者・教育者、高い実務能力を有する高度専門職業人の養成を目的としています。

この目的のため、本研究科には、哲学・思想専攻、歴史・人類学専攻、文芸・言語専攻(以上5年一貫制博士課程)、現代語・現代文化専攻、国際公共政策専攻、国際日本研究専攻(以上前・後期区分制博士課程)、国際地域研究専攻(修士課程)の7専攻が設置されています。

哲学・思想専攻、歴史・人類学専攻、文芸・言語専攻及び現代語・現代文化専攻は、人文科学分野における高い水準の研究者・教育者の養成をおこないますが、同時に、5年一貫制の3専攻と区分制の1専攻の併存により、学び方と進路を選択できるようになっています。

国際公共政策専攻は区分制をとり、社会科学分野の高度な専門性と現代社会のニーズの変化に柔軟かつ先鋭に対応できる研究・教育の場を提供しています。

修士課程としての国際地域研究専攻と前・後期区分制博士課程としての国際日本研究専攻は、グローバル化に伴う多様な現象に対応した現代の諸問題を国際的・学際的観点から捉え深める研究・教育を進めています。

また、以上の各専攻における教育カリキュラムのほかに、教育研究を支援する課外プログラムとして、日独韓共同学位(修士)プログラム(TEACH)、インターファカルティ教育研究イニシアティブ(IFERI)、人文社会科学のためのキャリアデザインプログラム(PFP: Preparing Future Professionals/Professors)、日本語教師養成プログラムを設け、修了者にはプログラム修了証を授与します。

専攻の概要

平成20年に新設された国際日本研究専攻は平成27年度から博士前期・後期課程となり、教育内容が拡充されています。現在、4つの学位プログラム(国際日本複合研究学位プログラム、国際日本社会科学学位プログラム、国際日本人文科学学位プログラム、日本語教育学学位プログラム)において、体系的なコースワークを実施し、現代日本の特質を解明するための幅広い専門的領域と俯瞰的なものの見方を修得できるようになっています。国際日本複合研究の学融合型の特色を強めながら、社会科学、人文科学、日本語教育学のディシプリン型のプログラムも設け、複雑化する日本を中心とする現代国際社会の諸課題に対し、専門的能力を活用する問題解決型・実践型の能力を養います。旧国際日本研究専攻の成果や教育・研究上の蓄積を引継ぎつつ、現在の新国際日本研究専攻は早期修了制度、社会人入学制度、指定校推薦入学制度、昼夜開講制度などの新たな制度を導入し、日本から世界に向けて新たな融合学際型の教育・研究システムの展開を図っています。

人文社会科学研究科教員研究分野一覧

<国際日本研究専攻>【博士前期課程】

研究分野※1 Research Field	教員名 Faculty	研究内容 Detailed Description of Research Field
国際日本複合研究 Global Multidisciplinary Studies for Japanese Culture and Society	明石 純一 AKASHI Junichi	移民・難民研究、国際人口移動論、グローバルガバナンス Japanese Immigration Policies, International Population Movements in Asia, Global Governance on Migration
	井出 里咲子 IDE Risako	コミュニケーション論、人類学 Linguistic Anthropology, Ethnography of Communication, Narrative Analysis
	大友 貴史 OHTOMO Takafumi	国際政治理論、国際安全保障 International Relations, International Security
	巖 錫仁 Eom Seogin	哲学・倫理学、韓国と日本を中心とした東アジアの思想・文化、漢字文化論、家庭教育論 East Asian Confucianism, Kanji Culture

国際日本 複合研究 Global Multidisciplinary Studies for Japanese Culture and Society	海後宗男 KAIGO Muneo	ネットワーク社会論、情報メディア論、メディア・コミュニケーション論 Media Communication Research, Information and Network Society, Media Management
	佐藤貢悦 SATO Koetsu	哲学・倫理学、東アジアの思想と文化、漢字文化論 Comparative Thought of History on East Asia
	柴田政子 SHIBATA Masako	比較教育、歴史教育、教育社会史 Comparative Education with Special Reference to State Formation, Elite Formation and Nationalism
	白戸健一郎 SHIRATO Kenichiro	メディア史、東アジアのメディア文化論、放送文化論 Cultural Policy, Media History
	高木智世 TAKAGI Tomoyo	会話分析、相互行為分析 Conversation Analysis, Ethnomethodology, Discourse, Sociolinguistics
	田中洋子 TANAKA Yoko	世界経済史、比較歴史分析、比較労働・社会政策 Comparative Thought of History on East Asia
	津城寛文 TSUSHIRO Hirofumi	日本の精神文化、比較宗教学、翻訳論 Religion and Society, Public Religion, Modern Spiritualism
	潘亮 Pan Liang	戦後日本外交、現代日本政治外交史、日本の国連政策、戦後日米関係史 Postwar Japanese Foreign Policy, Modern Japanese Diplomatic History, Japanese Relations with the United Nations, History of Postwar Japan-US Relations
	平石典子 HIRAIISHI Noriko	比較文学(ヨーロッパ世紀末文学、日本近・現代文学) Comparative Literature (European Fin-de-Siecle Literature, Modern Japanese Literature)
	平山朝治 HIRAYAMA Asaji	日本文化と経済思想、「家」・アイドルの歴史比較制度分析 Economic Ideas, Theory of Economic System, Comparative Study of Thoughts and Ideas
	山本英弘 YAMAMOTO Hidehiro	政治社会学、市民社会、社会運動、利益団体、政治参加、計量社会学、社会調査 Political Sociology, Civil Society, Social Movement, Interest Group, Political Participation, Sociometrics, Social Survey
国際日本 社会科学 International Japanese Social Studies	明石純一 AKASHI Junichi	移民・難民研究、国際人口移動論、グローバルガバナンス Japanese Immigration Policies, International Population Movements in Asia, Global Governance on Migration
	大友貴史 OHTOMO Takafumi	国際政治理論、国際安全保障 International Relations, International Security
	柴田政子 SHIBATA Masako	比較教育、歴史教育、教育社会史 Comparative Education with Special Reference to State Formation, Elite Formation and Nationalism
	高橋秀直 TAKAHASHI Hidenao	金融論、金融史 Socio-Economic History, Monetary Economics
	田中洋子 TANAKA Yoko	企業・労働史、比較歴史分析、ドイツ経済史・経済論 Comparative Thought of History on East Asia

国際日本 社会科学 International Japanese Social Studies	崔 宰 英 Choe Jae Young	計量社会科学、計量政治学(比較分析)、調査方法、数理解析、都市・交通計画/政策、交通需要分析 Quantitative Social Science, Quantitative Study of Comparative Politics, Public Policy (Urban/Transport Policy)
	仲 重人 NAKA Shigeto	日本社会と公共経済、日本社会と公共選択 Public Choice, Public Economics
	根 本 信 義 NEMOTO Nobuyoshi	日本の裁判制度、民法の要件事実 Civil law, Criminal law, Fundamental Law
	潘 亮 Pan Liang	戦後日本外交、現代日本政治外交史、日本の国連政策、戦後日米関係史 Postwar Japanese Foreign Policy, Modern Japanese Diplomatic History, Japanese Relations with the United Nations, History of Postwar Japan-US Relations
	平 沢 照 雄 HIRASAWA Teruo	現代日本経済史、地域経済・産業史、中小企業論 Japanese Economic History, Japanese Economy, Regional Economy, Small Business
	福 住 多 一 FUKUZUMI Masakazu	ゲーム理論、進化ゲーム理論、ミクロ経済学、日本的経済慣行のゲーム理論分析 Evolutionary Game Theory, Behavioral Game Theory, Law and Economics
	宮 坂 涉 MIYASAKA Wataru	古代ローマ法、民法、西洋法制史、法と国際社会 Fundamental law, Civil law
	生 藤 昌 子 KEFUJI Masako	グローバル環境と日本経済、マクロ経済学 Environmental Economics, Macroeconomics
国際日本 人文科学 International Japanese Humanities	巖 錫 仁 Eom Seogin	哲学・倫理学、韓国と日本を中心とした東アジアの思想・文化、漢字文化論、家庭教育論 East Asian Confucianism, Kanji Culture
	海 後 宗 男 KAIGO Muneo	ネットワーク社会論、情報メディア論、メディア・コミュニケーション論 Media Communication Research, Information and Network Society, Media Management
	佐 藤 貢 悦 SATO Koetsu	哲学・倫理学、東アジアの思想と文化、漢字文化論 Comparative Thought of History on East Asia
	白 戸 健 一 郎 SHIRATO Kenichiro	メディア史、東アジアのメディア文化論、放送文化論 Cultural Policy, Media History
	津 城 寛 文 TSUSHIRO Hirofumi	日本の精神文化、比較宗教学、翻訳論 Religion and Society, Public Religion, Modern Spiritualism
	平 石 典 子 HIRAIISHI Noriko	比較文学(ヨーロッパ世紀末文学、日本近・現代文学) Comparative Literature (European Fin-de-Siecle Literature, Modern Japanese Literature)
	平 山 朝 治 HIRAYAMA Asaji	日本文化と経済思想、「家」・アイドルの歴史比較制度分析 Economic Ideas, Theory of Economic System, Comparative Study of Thoughts and Ideas
	日本語教育学 Japanese Language and Japanese Language Pedagogy	井 出 里 咲 子 IDE Risako
伊 藤 秀 明 ITO Hideaki		日本語教育学、教育方法研究 Japanese Language Education, Japanese Language Educational Methods

日本語教育学 Japanese Language and Japanese Language Pedagogy	小野正樹 ONO Masaki	日本語を中心とした語用論研究、日本語教育学 Japanese Language Education, Japanese Functional Grammar
	木戸光子 KIDO Mitsuko	日本語教育学、文章論、作文教育 Japanese Language Education, Study on Japanese Discourse
	関崎博紀 SEKIZAKI Hironori	日本語教育学、会話の分析 Japanese Language Education, Conversation Analysis
	高木智世 TAKAGI Tomoyo	会話分析、相互行為分析、相互行為言語学 Conversation Analysis, Ethnomethodology, Discourse, Sociolinguistics
	ブッシュネル ケード BUSHNELL CADE	エスノメソドロジー的会話分析、社会文化的学習論、日本語教育学 Ethnomethodological Studies, Conversation Analysis, Situated Learning, Japanese Language Education
	文 昶 允 Moon Chang Yun	日本語音韻論 Japanese Phonology
	ルート ヴァンバーレン Ruth Vanbaelen	日本語を中心とした社会言語学 Sociolinguistics Studies with a Focus on Japanese Language

入学願書等記入上の注意

1. 入学願書に記入した氏名、生年月日、性別は、基本データになりますので正確に記入してください。
2. 入学願書は、複数の専攻で共通に使用できるように作成されています。
したがって、専攻によっては該当しない受験科目欄が設けられている場合がありますので、各専攻の指示に従い該当する欄のみ記入してください。
3. ※欄は記入しないでください。
4. 研究科・専攻コードは、次の該当するコードを記入してください。

研究科名	コード	専攻名	コード
人文社会科学	8 E	国際日本研究	F

5. 改姓年月及び旧姓欄は、婚姻等により出願書類(成績証明書など)と氏名が異なる場合に記入してください。
6. 本人以外の連絡先欄は、本人と連絡のとれる者を記入してください。
7. 志望研究科・専攻名は、募集要項(2頁)で明記している研究科・専攻名を記入してください。
8. 志望研究分野は、志願者全員が、国際日本研究専攻が開設する4つの学位プログラムの中から希望するプログラムを一つ選んで記入してください。
9. 受験特別措置欄は、障害のある者で、受験の際に特別な配慮を許可された者は「要」に○を付してください。それ以外の者は「不要」に○を付してください。
10. 出願資格審査欄は、募集要項に明記している出願資格認定審査に提出する者は「要」に○を付してください。それ以外の者は「不要」に○を付してください。
11. 出願資格欄は、該当する出願資格に応じて修了した(修了見込みの)学校名等を記入してください。
12. 入学願書提出後、連絡先が変更になった場合には、直ちに申し出てください。

＜各専攻別記入例＞

〈国際日本研究専攻〉

志望研究科名・研究科コード		志望専攻名・専攻コード		志望研究分野（学位プログラム）
人文社会科学研究科	8 エ	国際日本研究 専攻	F	国際日本複合研究
受 験 科 目	外国語等	専門科目	口述試験	
			面 接	

（参考）国際日本研究専攻が開設する4つの学位プログラム

*Reference, 4 degree programs (research fields) made up by International and Advanced Japanese Studies

- | | |
|--------------------|---|
| A) 国際日本複合研究学位プログラム | Global Multidisciplinary Studies for Japanese Culture and Society |
| B) 国際日本社会科学学位プログラム | International Japanese Social Studies |
| C) 国際日本文科学学位プログラム | International Japanese Humanities |
| D) 日本語教育学学位プログラム | Japanese Language and Japanese Language Pedagogy |

国際日本研究専攻は上記4つの学位プログラムに分かれています。出願にあたっては教員研究分野一覧と学位プログラムの詳細を必ず確認してください。各学位プログラムの詳細は、下記の専攻ホームページを参照してください。

International and Advanced Japanese Studies provides 4 degree programs (Research Fields) as above. An applicant must confirm the list of faculty research fields and degree programs detail in your submitting. Please refer IAJS website at first for each degree program detail.

国際日本研究専攻ホームページ（Website, International and Advanced Japanese Studies）<http://japan.tsukuba.ac.jp>